

平成28年9月23日

回 覧

みずき野町内会
会 長 佐々木 保昌
副会長 山下 勝博(防災担当)
防災部長 和田 哲

みずき野防災だより

今月の活動報告

- ・ 9月4日、守谷市防災訓練に合わせみずき野でも安否確認、初期消火、救急搬送の訓練を実施しました。無事を示す白布の掲示は在宅家庭の87.7%でした。
- ・ 白布の掲示は、安否確認の効率を上げ、速やかに救助活動へ人手を集中するための手段です。救助活動を支える「共助」にあなたも、ぜひ参加して下さい。

町内会の災害対策本部立ち上げは震度5強以上です。

震度5強は白布準備

家族の安否確認後、門扉から見える位置に白布等を結んでください。

風水害と地震 — 防災対策の違い

風水害は気象情報によって予め危険の発生が予想できます。

みずき野では川の氾濫による水害の危険は少ないのですが、豪雨による土砂崩れや水の溜まりやすい場所での冠水は無いとは言えません。自宅の周囲にどんな危険があるのか、安全な避難ができるのか、確認をしておき、万一来るに備えましょう。

地震は突然やってきます。

日頃から家の中を揺れに備えた状態にしておくことが肝要です。発生した時には、まず、わが身と家族の安全を確保し、揺れが納まってから行動します。新耐震基準で建てられた住宅はすぐに倒壊することはありません。避難する前に火元を確認しブレーカーを落とします。避難先を玄関に貼り出しておきます。